

図書館だより no.253

2025（令和7）年5月23日発行 編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

Tel 024-535-3218 Fax 024-536-4787

<https://www.library.fcs.ed.jp/>



野菜づくりのコツを知りたいとき
など気軽にご活用ください

農業や地域づくり、食品加工などを手軽に調べる

新しいデータベースが入りました！



4月より図書館内で利用できるデータベースに、農業情報データベース「ルーラル電子図書館」が加わりました。これは農業に関する情報を閲覧・検索できるデータベースです。農山漁村文化協会が発行した雑誌・書籍・事典類も多数収録されています。ぜひご活用ください。

●「ルーラル電子図書館」でこんなことができます

- ・作物やテーマから、生産技術や加工などの情報を調べることができます。
- ・「病虫害・雑草データベース」などが見れます。
- ・「食」と「農」をベースにした調べ学習や自由研究のネタ探しができます。

ご利用の際には、カウンターでおたずねください。

（印刷可能。白黒1枚10円、カラー1枚50円）

展示のご案内



◆企画展示

長田弘の“本と言葉”展～長田弘没後10年～

今年は福島市出身の詩人長田弘さんの没後10年になります。

当館で所蔵している長田弘さんの蔵書と著作からなる「長田弘文庫」から、本にまつわるエピソードとともに展示しています。

展示期間 4月4日(金)から7月2日(水)まで
展示場所 企画展示コーナー

お願い



雨の日は、ビニール袋や

口が閉まるバッグなどをご準備ください

雨の季節が近づいてきました。本が濡れてしまうと、シミやページの波打ち、カビなどが発生するおそれがあります。雨が降っているときには、本をしまうためのビニール袋や口が閉まるバッグなどをご準備ください。

皆さまのご協力をお願いいたします。

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お薦めの新着資料をご紹介します。

人文・社会・自然

『人はなぜ物を愛するのか「お気に入り」を生み出す心の仕組み』アーロン・アファーヴィア／著, 田沢 恭子／訳 白揚社 2024.12 141.62/77 24Z

大好きなグッズ、お気に入りの音楽、大切な家具…など、人にはそれぞれ愛するモノがあると思います。では、人はなぜモノを愛するのでしょうか。本書は人がモノを愛する心理を科学的に分析し、その原理を明らかにしています。モノへの愛と自己の関わりについて知ること、人生を豊かにするヒントが得られるかもしれません。

『海外の教育のしくみをのぞいてみよう 日本、ブラジル、スウェーデン、イギリス、ドイツ、フランス』園山大祐／編著 明石書店 2024.12 373.1/77 24Z

意外と知らない海外の学校生活について、現地でのエピソードを交え Q&A 形式で読みやすく紹介した 1 冊です。巻末には各国の学校系統図や統計比較表が掲載されているほか、8 か国の研究者が集まり掃除・部活動・宿題・高校入試といった身近なテーマで学校事情を語った座談会も収録されています。

『近代万博と茶 世界が驚いた日本の「喫茶外交」史』吉野 亜湖、井戸 幸一／共著 淡交社 2025.2 619.8/37 25Z

日本が万博デビューを果たした明治時代、西洋では珍しい日本産のお茶や茶器、茶道は注目を集めました。欧米と肩を並べたい明治政府は、万博を好機に「日本茶」を世界へ売り込むマーケティングに乗り出したのです。大阪・関西万博が開催のいま、日本がたどった近代万博の歴史に目を向けてみませんか。

児童・児童図書研究

『わらって、考える! イグ・ノーベル賞ずかん』古澤 輝由／監修, 萩原 慶／絵 ほる出版 2024.12 377/7

イグ・ノーベル賞とは、「人々を思わず笑わせ、そして考えさせる業績」を残した人や団体に送られる賞のこと。日本からはほぼ毎年のように受賞者が出ているので、ニュース等でみかけたことがある方もいるかもしれません。

本書は、そんなイグ・ノーベル賞の由来や授賞式の様子、歴代の受賞者の研究についてわかりやすく解説しています。「いろいろなオタマジャクシを集めてみんなで食べくらべてみた研究」や「集中していると、目の前をゴリラが横切っても気づかないことがあると証明した研究」など、ユニークな研究タイトルばかりです。研究をはじめたきっかけやウラ話まで、子供だけでなく大人も楽しく読める図鑑です。

雑誌・新聞

大阪・関西万博が開幕しました。関連特集記事のある雑誌をご紹介します。ぜひご覧ください。

『旅行読売』旅行読売出版社 Z689/R1 2025.5 (第 970 号, 2025.5)

特集「いよいよ開幕! 大阪・関西万博」

『Newton』ニュートンプレス Z405/N 1 2025.5(第 45 巻第 6 号, 通巻 526 号, 2025.5 月号)

特集「大阪・関西万博 2025」

『事業構想』事業構想大学院大学出版部 Z335/J2 2025.6(通巻第 153 号, 2025.6 月号)

特集「万博開幕を地域観光に活かせ」

『SFマガジン』早川書房 Z910.5/S15 2025.6 (第 66 巻第 3 号, 768 号, 2025 年 6 月号)

特集「大阪・関西万博／バーチャル大阪パビリオン特集」

地域

『西谷棚田を守る人々 その出会いから、私は農業の偉大さを知りました』太田 左恵子／著, 太田 真茅／制作・編集 大七酒造株式会社 2024.12 L616.2/O2/1

令和元年に「棚田地域振興法」という法律が公布・施行されました。維持コストや担い手減少などの問題から荒廃の危機に直面している棚田の保全を目的とした法律です。県内でもその趣旨に基づき、棚田の振興に向けた取組が行われています。

本書では二本松市にある「西谷棚田」の保全を取り上げ、地域の人々による取組を写しています。美しい棚田でいきいきと写し出される人々の営みの様子に、郷愁を覚える 1 冊です。

『孤高の陶芸家・一重孔希作品集 雄国の自然から生まれた祈りの造形』森 孝一／監修・執筆 孔希会 2025.1 L751.3/I3/1

喜多方市生まれの陶芸家、一重孔希 (1948-2021)。生家に程近い雄国山麓の陶房を拠点として、孤高とも評される姿勢で作陶を続けました。

没後 4 年となる 2025 年、その仕事を残そうと本書が刊行。故郷・喜多方の画廊では作品展が催されました。白磁をはじめとする暮らしの器に加え、塑像、童画といった作品を 180 余りの図版で紹介しています。著者による解説・略年譜が付されており、作家・一重孔希の仕事と生涯を知ることができる 1 冊です。